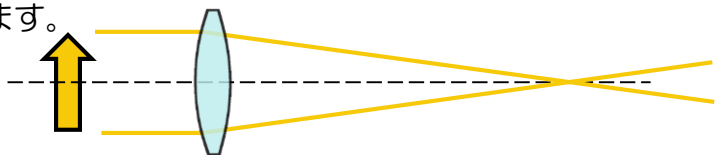
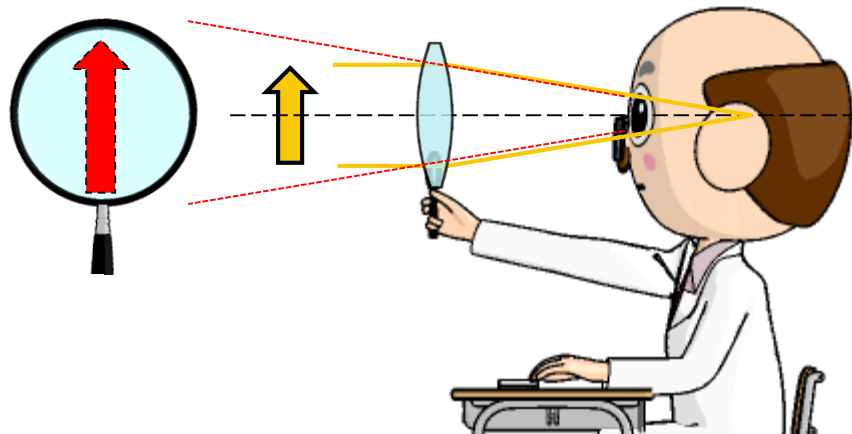


★虫眼鏡を使って3Dに見える理由★

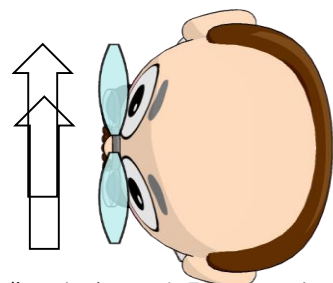
虫眼鏡は、レンズがふくらんでいる凸レンズといわれるものです。凸レンズを通した光は、こんな風に進みます。



レンズを通してやじるしを見ると、矢印からの光が目が届くんだけど、人間は、光はまっすぐ進んできていると思うので、やじるしが大きくなって、あるように感じます。



だから、右目左目にそれぞれレンズを付けて、それぞれのやじるしを見ると、矢印が重なって見えてしまいます。



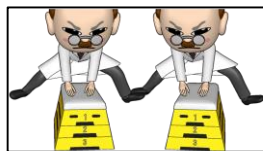
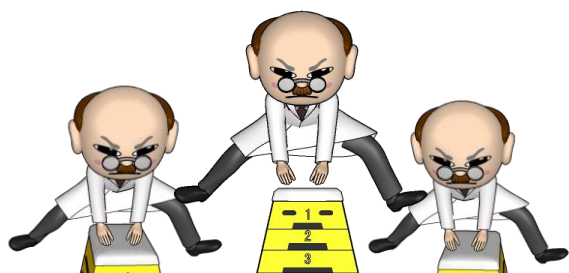
し〜！ってやった実験で右目と左目で見た時、指がずれて向きも違って感じたね。人間の目は、右目と左目が8cmくらい離れています。それで右目と左目だけでもものを見たときには少し違って見えています。



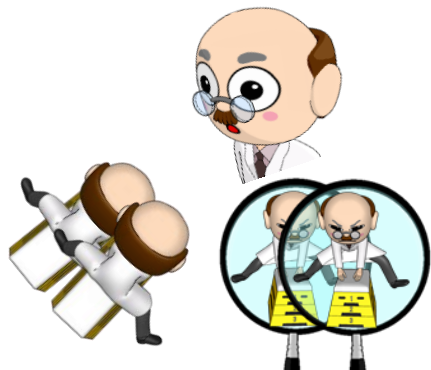
また、目からコーンの方に右手と左手を向けたけど、その延長線上にコーンがありました。人間は、右目と左目にとどく光の交わったところに、ものがあると思うんだ。

だから例えば、おせが飛び箱をしているところは、右目と左目で見ると少し違って見えるはず。

そこで、右目と左目で見える絵を用意し、右目左目のレンズでそれぞれを見るようにします。



そうすると、レンズのために絵は拡大されます。そして重なるところが出てきます。



そうすると脳では情報を処理して、きちんと重なったところに、あたかもその絵のものがあるかのように感じ、非現実（VR）のものです。現実のものとして感じるのです。いろいろな調整がうまくいくと、レンズをのぞくと一瞬で感じられるようになるし、レンズなしでもできるようになります。拡大されると重なるだけでなく、まるで目の前にそのものが広がり臨場感が高まりますね。VRの技術は、今回の装置に、もっともっと付加価値を付けて、さらに臨場感を高めています。